
インフィルトレイトデビル

503 error

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

インフィルトレイトデビル

【Nコード】

N8654E

【作者名】

503 error

【あらすじ】

男は、今まさに『戦い』へ臨もうとしていた。決して完全に消えることのない浸透する悪魔と男の、ひとつの決着。

男は、自分の部屋の前で立ち尽くしていた。心臓が、これから起こるであろう惨劇を予知するかのように早鐘を鳴らしている。

『奴等』は、この扉の向こうにいる。今ここで殲滅しなければ、アパートの他の住人までもが犠牲になってしまうことは明白だった。増殖し、部屋を抜け出し、まるで浸透する水のように、『奴等』は容易くアパートを侵し尽くしてしまうだろう。それだけは防がなければならぬ。

男は、拳を強く握り締めた。

扉を開ける。ギギ、と錆びた鉄の音が響いた。部屋は心なしか、いつもよりも静謐だった。扉を閉めると、まるでここだけが外部から遮断された異空間のようにさえ思える。吐き気がした。すぐ隣りで、足元で、『奴等』の気配を感じる。この部屋が、『奴等』に侵されている以上、この嫌悪感は消えることはないだろう。

もう、終わりにしよう。既にアパートの住人には全てを説明し、避難を促してあった。邪魔の入る心配は一切ない。今ここで、『奴等』を地獄の底へと葬り去る！

男はゆっくりと、歩を進める。

やがて部屋の中央に達したとき、左手に提げていたバッグの中から、缶詰にも似た短い円柱状のものを取り出した。その外観は、毒々しい赤で覆われており、攻撃的な印象を強く受ける。『兵器』としては、まさにうってつけだった。

蓋を開け、『兵器』を床に置く。これで、全てが終わる。

「地獄に墜ちろ。バケモノどもめ」

男は、『兵器』を作動させると、足早に部屋を出た。

数時間後、男が部屋を訪れたとき、殲滅は見事に成功していた。そこには何十匹ものゴキブリが、息を絶やして転がっていた。

「了」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8654e/>

インフィルトレイトデビル

2010年10月22日00時26分発行